



院長

村上 優(むらかみ まさる)

1949年生まれ

74年九州大学医学部卒

86年国立肥前療養所精神科医長、2002年同療養所臨床研究部長、

同年King's College London Institute of Psychiatry(司法精神医学研究所)長期研修。

2005年花巻病院臨床研究部長(併任)、2006年琉球病院長を経て、2014年榊原病院長に就任。

日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事。

NGOベシヤワール会の会長として活躍。



診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- ・ 専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 126床

- ・ 精神科病棟 108床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット
- ・ アルコール・薬物依存症ユニット



- 電車・バス / 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。
- 自動車 / 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分
- マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)

病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

〈平成27年4月からの新体制〉

院長 村上 優

春の訪れと同時に、榊原病院も異動の時期になりました。当院では専任の院長不在の困難な時期に病院マネジメントを一手に引き受けてきた原事務長が石川県の医王病院へ異動します。この間、様々な先生方や行政機関へのお願いも原事務長よりしていましたので、皆様方にも馴染んでいただいていたと思います。次期事務部長(今後は部長制になります)は東海北陸グループの今井さんがきて人事や財政的なマネジメントを担当します。

新しい医師が二人見えます。女性の近藤先生はアルコール専門医療に大きな関心を寄せられて、この分野での活躍を期待しています。一般精神科医療も広く担当しながら医療水準を高めていただけたと思います。男性の山下先生は琉球病院の急性期医療からの転進で、司法精神医学に興味を持ちながら、やはり一般精神科医療も広く担当していただきます。若くて、意欲的で前向きな先生と一緒に新しい精神科医療を作る喜びを体験したいと願っています。

看護部長で異動する西谷さんは肥前精神医療センター、琉球病院時代に私と医療観察法医療の構築に尽力し、この分野の看護では第1人者です。過去においては肥前精神医療センターの認知症教育プロジェクトの中心でしたし、精神科の幅広い臨床経験や指導力には定評があります。今後榊原病院の看護を大きく育てるためには、率先して現場の前線に赴き、これまでにない看護の発展を目指します。同様に三重中央医療センターより副看護部長として赴任する石川さんも、以前には東尾張病院の病棟看護師長として精神科急性期病棟や医療観察法医療にも携わっていた専門家で、看護部が精神科チーム医療や新しい看護のあり方を目指して強い布陣を整えることが出来ました。アルコール薬物依存部門には3月まで琉球病院の古川看護師長が指導に来ていましたが、古川さんの指導を受けていた琉球病院の松井副看護師長が引き継いで赴任してくれました。

作業療法部門は欠員がありましたが、この春より4人体制に戻りましたのでリハビリテーション部門を活性化してくれるでしょう。心理療法士部門は壁屋主任が組織して医療観察法医療、児童思春期、デイケア、アルコール・薬物部門、一般精神科と広くプログラムが整いました。医療連携は新しく参加していただく訪問看護師や、ネットワークを広げるためアウトリーチ活動を充実させます。CPMS体制も薬剤師・看護師・医師の連携が充実してきました。すでに15例ほどが投薬開始を始めるなかで多忙な業務を着実に展開してくれています。

大きな変化のとき、それが榊原病院の平成27年度と期待しています。

トピックス

行事・出来ごと

- 平成27年1月より「禁煙外来」をはじめました。
タバコを辞めたいと思っていてもなかなかやめられないあなた、「タバコのない生活」始めてみませんか? お気軽に当外来にご相談ください。
- 平成27年2月より北2病棟が南1病棟に移転しました。
- 平成27年4月よりデイ・ケアを週2日から週3日に拡大しました。

教育・研修

- 「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)指導者養成研修」平成27年6月15日(月)~18日(木)
- 「GAF(機能の全体的評定)について」(講師:稲垣 中 青山学院大学国際政治経済学部教授)平成27年3月17日(火) 17時30分~
- アルコール家族教室(1/16、1/30、2/13、2/27、3/13、3/27、4/9、全7回10:30~11:30)



榊原病院ホームページ
QRコード

地域医療連携室だより

〈図書ルームを開設しました〉

本年1月より地域医療連携室の新たな取り組みとして、患者図書ルームをスタートしました。患者様・ご家族様に、図書を通して病気や医療・福祉の情報を広く知っていただき、回復への志向・治療に取り組む意欲を高め、治療に参加し、治療者とのより良いコミュニケーションにつながればと考えています。まだスタートしたばかりですが、入院患者様は自由散歩の時間を利用して、ふらっと寄ってパラパラと見て帰る方、しっかりと読み込んで帰る方など様々です。



現在『こころの元気+』『統合失調症がやってきた』『ツレがうつになりまして。』『ボクのせいかも…お母さんがうつ病になったの』『ニッポンの(薬物)依存』等を揃えています。一度、図書ルームをのぞいてみてください。開設時間：第2木曜日10時～11時

空床状況 **精神科病棟**
3月23日現在 **7床**



訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできず使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっております。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成27年3月までに全症例は15例となりました。3月の新規導入は5例でした。4月も順次投与を開始する予定です。

また、今後クロザピン専門外来の開設についても準備を進めていく予定としています。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状(BPSD)に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」(健康日本21)と言われております。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。4月から当院のアルコール・薬物依存症治療のプログラムをリニューアルしました。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。



〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われております。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内

〈4月よりデイケアを拡大しました〉

平成27年4月1日(水)から、デイケアの実施時間が午後半日のショートケアから、1日(9:30～15:30)のデイケアに変わります。曜日についても、月・水の週2日から月・水・金の週3日に変わりました。

朝から参加するのは大変だという声もありますが、朝から起きて活動する場所として活用して頂きたいと思っております。昼食づくり等の新しいプログラムも行います。参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。

主な内容： 統合失調症疾患教育、スポーツ、昼食づくり、カラオケ など



榊原は自然がいっぱい！
お話しながら歩きませんか？

大人気のクッキング教室で、
カレーライスを作りました。



近況だより

北2病棟引越しました



北2病棟は、平成27年1月27日に南1病棟へ引っ越しをしました。引っ越しでは、職員が「腰が痛いわあ～」とあちこちで叫びながら、患者様のご協力もあり、安全に無事終えることができました。

南1病棟での患者様は、すぐに環境にも慣れて頂き、最初は緊張と不安の表情から和んだ表情に変化していく様子を見守ることができ、職員も安心しています。

これからも引き続き、いろんなプログラム・勉強会・レクリエーションが行われます。患者様が穏やかに、安心した入院生活を送って頂けるよう支援してまいります。